

雑木林とせせらぎのふるまひ



にいざの歴史をたずねる



“すぐそこ新座”観光ガイドマップ

新座市へのアクセス

＜電車最寄り駅＞バス
市内各所へは、バスが便利。最寄り駅より様々な系統が発着し、市内を網羅しています。

- JR武蔵野線 新座駅（南浦和駅より約13分・西国分寺駅より約15分）
- 東武東上線 志木駅（池袋駅より約20分・川越駅より約11分）
- 西武池袋線 清瀬駅（池袋駅より約25分・所沢駅より約6分）
- 西武池袋線 ひばりヶ丘駅（池袋駅より約20分・所沢駅より約10分）

＜車＞

- 都心からは、国道254号を川越方面へ
- 所沢・さいたま方面からは、国道463号経由で国道254号を和光方面へ

テレフォンガイド

国際興業株式会社 西浦和営業所 048-865-2260	西武バス株式会社 新座営業所 048-481-2525	東武バスエース株式会社 新座営業事務所 048-477-3934	新座市 048-477-1111(代表)
------------------------------------	-----------------------------------	--	-------------------------

“すぐそこ新座”観光ガイドマップ

- 平成30年9月発行
- 発行：新座市総合政策部シティプロモーション課
- 制作：株式会社昭文社
- 協力：新座市商工会、株式会社プロダクション

にいざの歴史をたずねる

清流と緑を楽しめる遊歩道が人気



古くから交通の要所として宿場も置かれていた新座。人々の暮らしを支え、まちの発展の礎となった史跡が、今でも市内に多く残っています。そんな歴史をたずねて、歩いてみませんか。

野火止用水は、野火止台地開拓者の大切な飲料水として、承応4(1655)年に、川越藩主であった松平伊豆守信綱が家臣の安松金右衛門に命じて玉川上水(東京都小平市)から分水したものです。現在、用水周辺には遊歩道が整備されていて、自然を楽しめる貴重な憩いの道になっています。全長は約24kmで、志木市宗岡の水田も潤していました。

ソウキリンニュース!!

新座市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地です。陸上自衛隊朝霞訓練場(新座市、朝霞市、和光市、東京都練馬区)の3市1区にまたがる施設で射撃競技が開催されます!

また、東京2020大会に向けて、新座市は、ブラジル連邦共和国の事前キャンプ予定地になりました!新座市から、東京2020大会を盛り上げます!!

にいざイベントを楽しむ

春

平林寺半僧坊大祭

毎年4月17日に平林寺で行われる新座の春の大祭で、平林寺は方広寺(浜松)、建長寺(鎌倉)と並ぶ、三大半僧坊のひとつとされます。

門前の大通りには露店が軒を連ね、川越藩主松平伊豆守信綱を讃える「伊豆殿行列」も華やか。平林寺の祭行列「お繰り」に続き、僧侶による大般若祈禱も行われます。

武州里神楽(春の例祭)

石山社中による里神楽は江戸時代後期から10代にわたって相伝されているもので、関東でも伝統がある神楽です。これにより、市の無形文化財第1号に指定されています。この神楽は各地で見ることができ、毎年には大和田水川神社、神明神社、野火止水川神社の3か所の例祭で奉納の舞が披露されます。

夏

ホテルの観賞会

野火止三丁目地内の野火止用水沿いや畑中地区の黒目川沿いにおいて、地域が主体となって、ホテルの自生を目指した環境づくりが進められています。各地域では、毎年5～6月にホテルの観賞会が開催されます。

新座快道みらい大江戸新座祭り

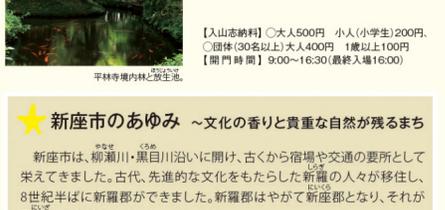
大江戸新座祭りは、新座の夏の風物詩である阿波踊りを新座市内に残したいという思いから、有志の方々によって平成27年に誕生した祭りです。開催場所は、ふるさと新座館周辺で、当日は阿波踊りをはじめとした多くのイベントが行われ、大変盛り上がります。

柳瀬川ふれあい祭り

地元9町会及び自治会が主催する祭りで、第四中学校の校庭で開催されます。打ち上げ花火を見ながら、のんびりと祭りを楽しむことができます。

野火止の歴史とともにある武蔵野の禅刹

へいりんじ 平林寺



平林寺は、永和元年(1375)現在のさいたま市岩槻区に創建されました。その後寛文3(1663)年、川越藩主であり、徳川幕府に老中として仕えた松平信綱の遺命によって、野火止へ移転されました。「知恵伊豆」とも称された信綱は平林寺にいまも眠り(松平伊豆守信綱夫妻の墓、県指定史跡)、一族の菩提寺となっています。

茅葺屋根の総門、山門、仏殿、中門は県指定有形文化財(建造物)。伽藍を囲むように広がる境内林は東郷ドーム約9個分の広さがあり、雑木林としては唯一の国天然記念物に指定されています。

なお、平林寺は禅修行の専門道場です。境内を散策する際には案内表示に従い、修行の妨げとならないよう、静粛をお願いします。御朱印はありません。

【入山志納料】○大人500円 小人(小学生)200円、○団体(30名以上)大人400円 1歳以上100円
【開門時間】9:00～16:30(最終入場16:00)

★新座市のあゆみ～文化の香りと貴重な自然が残るまち

新座市は、柳瀬川・黒目川沿いに開け、古くから宿場や交通の要所として栄えてきました。古代、先進的な文化をもたらした新羅の人々が移住し、8世紀半には新羅郡ができました。新羅郡はやがて新座郡となり、それが「新座」の名前の由来となっています。

近世に入って大きな役割を果たしたのは川越藩主であった松平伊豆守信綱。信綱は野火止台地の開発や野火止用水の開削をしました。江戸時代には開発によってできた村を含め、市域には15の村が存在しました。新座の発展に大きく関わった信綱は、今も平林寺の廟所に眠っています。

その後、昭和30(1955)年には当時の大和田町と片山村が合併して新座町となり、さらに昭和45(1970)年11月1日に市制施行により新座市が誕生しました。

悠久の歴史と、雑木林やせせらぎなど豊かな自然をもつ新座市は、埼玉県南西部の中堅都市として、なおも発展を続けています。

夏

はだか神輿・大和田囃子(大和田水川神社夏まつり)

7月下旬には、大和田水川神社で市の文化財に指定されている「はだか神輿」と「大和田囃子」が奉納(披露)されます。「はだか神輿」は「裸神輿」とも呼ばれ、若衆たちが神輿を高く持ち上げたり地上をすれすれに落としたりしながら、神社境内や川越街道などを練り歩く勇壮なものです。また「大和田囃子」の曲目は多く、おおかめ・ひよっこ・狐・獅子などの面をつけた踊りもつきます。

中野の獅子舞

中野地区には市の無形文化財に指定されている伝統行事「中野の獅子舞」があります。五穀豊穡と災厄消除などを祈願するもので、江戸時代の初め頃に京都の熊野神社から拝領した獅子頭が起源と言われています。男獅子・中獅子・女獅子の3体と、棒使い、山ノ神、花笠、囃子、笛吹きから成り、祝詞囃子などの曲に合わせて獅子が舞います。現在は休止中です。

秋

新座快道みらい都市市民まつり

10月上旬の「市民体育祭」を皮切りに、「新座快道みらい都市市民まつり」として各種のまつりが開催されます。10月中旬には、商工会館や市役所周辺で、市内の物産展示、模擬店の出店、歩行者天国でのパレード・流し踊りなどで賑わう「産業フェスティバル」が行われます。

10月下旬には、「健康まつり」が行われ、健康相談、体力テスト、はいはいコンクールなど各種コーナーが設けられます。11月上旬には、市内農産物の展示や即売などで賑わう「収穫祭」が行われます。また、にいざまつりとうらぶ、市民会館などで芸術展・舞台発表・各種大会などが開催される「文化祭」も行われます。

“すぐそこ新座”発見ウォーキング

新座駅・志木駅から出発し、コース途中のチェックポイントでスタンプを押しながら新座市役所を目指すウォーキングイベントです。志木駅からは約6km、新座駅からは約3.5kmの距離を歩くので、当日は市役所で農産物の即売会などが行われる「収穫祭」、各国の料理の模擬店が並ぶ「国際交流デー」及び社会福祉協議会主催による「ボランティアまつり」も同時開催されます。

にいざ花と自然をあるく

野寺のカタクリ

野寺三丁目の保全緑地の斜面に、カタクリの花が群生しています。保全緑地はカタクリ山と呼ばれ、3月下旬から4月上旬までが見頃です。

本多緑道の桜

野火止用水の清流に沿うようにして、春には数多くの桜が咲き乱れます。市内南西部に位置する本多緑道でも、せせらぎの桜が見事です。

黒目川沿いの桜堤

平成の名水百選に選ばれた妙音沢。この流れが黒目川と合流するあたりから西方向にかけて桜堤があります。満開の桜は、新座の春の風物詩とも言える光景です。

栄緑道の桜

新座にある栄緑道の面積はおよそ35,500㎡。春には桜の花が咲き乱れ、多くの花見客が訪れます。夜桜の名所としても知られています。

総合運動公園の菜の花

このエリアは本多の森お花畑と呼ばれ、3月下旬から4月上旬には約3,000㎡の敷地に菜の花が咲き、黄色のじゅうたんが一面に広がります。

平林寺の新緑

4月下旬頃より境内の木々が一気に芽吹き、新緑溢れる季節を迎えます。黒風と野鳥の声も清々しく、散策には絶好の時期です。

にいざ歴史と自然を学ぶ

総合運動公園のヒマワリ

本多の森お花畑は、8月上旬から8月下旬にかけてヒマワリの花が咲き乱れます。畑の中では散策や写真撮影ができます。

市場坂・キツネノカミソリの里

8月初旬から中旬にかけて、市営墓園の北側斜面に群生するキツネノカミソリの花が見頃を迎えます。夏の太陽の下にオレンジ色の花が見事に咲き誇ります。

柳瀬川堤のヒガンバナ

市内北部にある新座団地付近の柳瀬川沿いでは、9月になるとヒガンバナ(曼珠沙華)の花が咲きます。土手は、秋の散策の人気スポットとなっています。

平林寺の紅葉

イロハモミジを主とした境内の紅葉は、山門や仏殿、半僧坊感応殿などの伽藍周辺が美しく色づき、例年多くの人が訪れます。

★新座の職人ワザ

押絵羽子板

生まれぬ女の子が丈夫に育つようにと祈願し、贈るものが羽子板。新座市内には、羽子板職人の押絵師がいる人形店が2店あります。押絵師とは、人形の胴体部分をつくる職人。年末の風物詩である羽子板づくりには、押絵師たちの職人技が光っています。

熊手

“福をかき集める”ということから縁起物とされている熊手。この熊手の中に組み込まれるのは、おかめ、鶴、松、小判、鯛などの縁起物ばかりで、その材料に彩色を施しながら、1つひとつ職人が組み上げていきます。こうして丹精込めて作った熊手が売れると「チャチャチャン」と3回、最後に大きく1つで締める手締めをしてお客さんに渡します。昔ながらのイキな習慣を決めた手に、職人がつくくり上げた縁起物の熊手が渡ります。

農産物直売所はこのほり旗が目印!

新鮮な旬の味覚は、このほり旗がある直売所で買うことができます(天候等により休業することもあるので、あらかじめご了承ください)。新座市を訪れたら、ぜひ安全・安心な農産物を見つけてみてください。

にいざ歴史と自然を学ぶ

睡眠軒の森

平林寺向かいの、雑木林を主とした庭園。「電力の鬼」と呼ばれた明治・昭和期の実業家松永安左衛門の別邸地跡で、現在は武蔵野の面影を残す平林寺境内林の一部として、雑木林の小径を散策することができます。(園内整備のため、平成31年3月末まで休園)

住所：新座市野火止1-20-12 問合せ：生涯学習スポーツ課 048-424-9616
時間：9:00～16:00 休園日：水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

妙音沢

市の南部、黒目川沿いの急斜面の雑木林に湧き出ている妙音沢。環境省が所管する「平成の名水百選」に選定されている清流です。黒目川に注ぐまでの流れは100mほどで、そこはきれいな水にしか生息しない生き物などがみられ、貴重な植物も数多く自生しています。

観光ボランティアガイド

市内の文化遺産や自然などの説明を聞きながら一緒に歩ける観光ボランティアガイド。新座市では平成20年度から開始され、野火止用水を中心に案内しています。ガイドを体験することで地域を深く理解できる取組は、新しい触れ合いを生んでいます。

ふるさと新座館内の観光インフォメーションコーナーでは、毎週土曜日・日曜日(10:00～15:00)に新座市の魅力を伝えています。

歴史民俗資料館

失われたつらき歴史、民俗、考古に関する資料の収集、保存及び展示をするともに、文化財保護の普及や啓蒙及び郷土学習の場となる施設です。

また、日本人初の南極探検家白瀬藤中尉が当市に居住していた頃の貴重な資料や南極探検の写真を展示しています。

住所：新座市片山1-21-25 電話：048-481-0177
入館料：無料 開館：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：休館日(祝日の場合は平日も休館)、土日(文化の日を除く)、年末年始、資料整理日(毎月末、ただし、休館日にあたる場合はその前日)

新座を伝える

新座市イメージキャラクター「ソウキリン」雑木林とせせらぎを大切にしている新座市に住んでいます。ソウのようですが、体の模様はキリンに似た不思議な生物。それが「ソウキリン」です。雑木林を「ソウキリン」と間違えて読んで、「こりゃオライのまちだ!!」とつって来た。そして居心地の良さそのまま住みついてしまいました。新座市のPR役として、これからもどンドン、にいざのよいところを皆さんに伝えていくので、よろしくね!

〇イライのことは、公式フェイスブックでInstagramでチェックしたら、イライのグッズ等は、観光アツで販売してるソウ!

f「ソウキリン」公式フェイスブック
<http://www.facebook.com/zoukirin.official>

Instagram「ソウキリン」公式Instagram
<https://www.instagram.com/zoukirin213/>

新座市産業観光協会ホームページをご覧ください。 http://www.niiza.net/

新座市観光親善大使「みきママ」こと藤原美樹さんが、新座市産の野菜を使ったオリジナル料理を考案しました。詳しいレシピは新座市産業観光協会HP(<http://www.niiza.net/>)に掲載していますので、是非ご覧ください。

